

- 谷口考純、八木和人、大見奈津江、田代 啓、木下茂. アフェメトリクス 500K チップによる原発開放隅角緑内障全ゲノム SNPs 解析. 第 62 回日本臨床眼科学会、東京、2008.10.23
21. 高岡真帆、高橋純子、池田陽子、森 和彦、斎田孝彦、木下 茂. 多発性硬化症網膜神経線維層厚の検討：病型、視神経炎既往の有無との相関. 第 62 回日本臨床眼科学会、東京、2008.10.24
22. 小嶋健太郎、安原徹、米田一仁、森 和彦、木下 茂、小森秀樹. 濾過胞感染に伴う眼内炎に対する硝子体手術の検討. 第 62 回日本臨床眼科学会、東京、2008.10.24
23. 松田 彰、森 和彦、池田陽子、成瀬繁太、今井浩二郎、木下 茂. 遺伝子多型とその機能相関研究の方法論. 第 62 回日本臨床眼科学会、東京、2008.10.23
24. 森 和彦、池田陽子、成瀬繁太、松田 彰、今井浩二郎、木村健一、木下 茂. 緑内障病型別緑内障家族歴の比較. 第 113 回日本眼科学会総会、東京、2009.4.16
25. 池田陽子、森 和彦、成瀬繁太、松田 彰、今井浩二郎、木村健一、木下 茂. 京滋地区を中心とした Hospital based 緑内障検診による若年者緑内障有病率. 第 113 回日本眼科学会総会、東京、2009.4.16
26. 森 和彦. カスタムチップによる原発開放隅角緑内障のゲノム SNPs 解析. 第 113 回日本眼科学会総会、東京、2009.4.17
27. 上野盛夫、佐々木美帆、丸山和一、池田陽子、森 和彦、木下 茂. 高眼圧により上方視神経部分低形成 (SSOH) 様の視神経乳頭変化をきたした一例. 第 63 回日本臨床眼科学会、福岡、2009.10.11
28. 池田陽子、高橋順子、森 和彦、永田真帆、上野盛夫、斎田孝彦、木下 茂. 多発性硬化症の病型別網膜神経線維厚減少量の検討. 第 63 回日本臨床眼科学会、福岡、2009.10.11
29. 池田陽子、森 和彦、上野盛夫、成瀬繁太、松田 彰、今井浩二郎、中野正和、八木知人、大見奈津江、不破正博、田代 啓、木下 茂.

- 原発開放隅角緑内障の疾患マーカー解析 第 63 回日本臨床眼科学会、福岡、2009.10.9
30. 中村 誠、狩野 廉、森 和彦、大鳥安正. 初心者のための緑内障診断基礎トレーニング 関西緑内障道場編. 第 63 回日本臨床眼科学会、福岡、2009.10.10
31. 森 和彦. 落屑緑内障治療における問題点. 第 20 回日本緑内障学会、沖縄、2009.11.13
32. 森 和彦. 角膜移植後の続発緑内障. 第 20 回日本緑内障学会、沖縄、2009.11.15
33. 上野盛夫、池田陽子、今井浩二郎、森 和彦、木下 茂. 京滋地区における過去 3 年間の緑内障薬物処方パターンの変化の検討. 第 20 回日本緑内障学会、沖縄、2009.11.13
34. 池田陽子、森 和彦、上野盛夫、今井浩二郎、八木知人、大見奈津江、徳田雄市、不破正博、田代 啓、木下 茂. 原発開放隅角緑内障の疾患マーカー SNP s 解析. 第 20 回日本緑内障学会、沖縄、2009.11.13-15
35. 今井浩二郎、森 和彦、池田陽子、上野盛夫、木村健一、木下 茂. 血液生化学データによる落屑緑内障と全身疾患との関連性の検討. 第 20 回日本緑内障学会、沖縄、2009.11.13-15
36. 高橋佳奈子、池田陽子、森 和彦、上野盛夫、今井浩二郎、近藤衣里、吉村彰紘、木下 茂. 網膜神経線維層厚解析装置による原発開放隅角緑内障の長期経過観察. 第 20 回日本緑内障学会、沖縄、2009.11.13-15
37. 吉村彰紘、池田陽子、森 和彦、上野盛夫、今井浩二郎、近藤衣里、高橋佳奈子、木下 茂. 原発開放隅角緑内障の視神経乳頭形状解析装置による長期経過観察例の検討. 第 20 回日本緑内障学会、沖縄、2009.11.13-15
38. 田中寛、森 和彦、古泉英貴、池田陽子、上野盛夫、今井浩二郎、木下 茂. スペクトラルドメイン OCT 深部強調画像法による眼圧変動に伴う脈絡膜厚変化の検討. 第 20 回日本緑内障学会、沖縄、2009.11.13-15

39. 岩間亜矢子、森 和彦、成瀬繁太、池田陽子、木下 茂. Icare 手持ち眼圧計による眼圧自己測定の可能性の検討. 第 20 回日本緑内障学会、沖縄、2009.11.13-15
40. 吉川晴菜、池田陽子、外園千恵、森 和彦、上野盛夫、今井浩二郎、木下 茂. 小児先天角膜混濁症例の眼圧、臨床所見と UBM 所見の関係. 第 20 回日本緑内障学会、沖縄、2009.11.13-15
41. 近藤衣里、森 和彦、池田陽子、上野盛夫、今井浩二郎、木下 茂. 緑内障患者に対するプロスタグランジン製剤単独療法とチモロール/ドルゾラミド併用療法の比較検討. 第 20 回日本緑内障学会、沖縄、2009.11.13-15
42. 森 和彦、池田陽子、成瀬繁太、松田 彰、今井浩二郎、木村健一、木下 茂. 角膜移植後に合併した緑内障に対する術式別長期手術成績の検討. 第 32 回日本眼科手術学会総会、兵庫、2009.1.23-25
43. 池田陽子、森 和彦、成瀬繁太、松田 彰、今井浩二郎、木村健一、丸山悠子、木下 茂. 前房メンテナー使用一時的眼内レンズ縫着併用繊維柱帯切除術症例の臨床背景と眼圧経過. 第 32 回日本眼科手術学会総会、兵庫、2009.1.23-25
44. 丸山悠子、森 和彦、池田陽子、成瀬繁太、松田 彰、木村健一、今井浩二郎、木下 茂. 隅角癒着解離術における手術用ダブルミラー隅角鏡の有用性の検討. 第 32 回日本眼科手術学会総会、兵庫、2009.1.23-25
45. 徳田雄市、池田陽子、八木知人、田中雅深、不破正博、大見奈津江、中野正和、谷口孝純、吉井健悟、森 和彦、景山正明、長崎生光、木下 茂、田代 啓. ゲノムワイド関連解析による緑内障疾患関連候補遺伝子の探索. 第82回日本生化学会大会、神戸、2009.10.24
23. 田中雅深、池田陽子、八木知人、徳田雄市、不破正博、大見奈津江、中野正和、谷口孝純、森 和彦、吉井健悟、景山正明、木下 茂、田代 啓. 疾患関連マーカー SNPs 同定のためのケースコントロール解析に供するイルミナカスタムチップによる SNP ジェノ

- タイピング最適化. 第82回日本生化学会大会、神戸、2009.10.24
24. Ikeda Y, Mori K, Ueno M, Imai K, Yagi T, Omi N, Tokuda Y, Fuwa M, Tashiro K, Kinoshita S. Association Between General Systematic Disease and the Marker Snps for Primary Open-Angle Glaucoma. 2010 Annual Meeting of the ARVO (The Association for Research in Vision and Ophthalmology), Fort Lauderdale, Florida, U.S.A., 2010.5.3
25. Mori K, Tanaka H, Koizumi H, Ueno M, Ikeda Y, Imai K, Kinoshita S. Choroidal Thickness Evaluation Accompanied by Intraocular Pressure Change Using Enhanced Depth Imaging Optical Coherence Tomography. 2010 Annual Meeting of the ARVO (The Association for Research in Vision and Ophthalmology), Fort Lauderdale, Florida, U.S.A., 2010.5.4
26. Imai K, Mori K, Ueno M, Ikeda Y, Kawasaki S, Yagi T, Ohmi N, Fuwa M, Tashiro K, Kinoshita S. The Rs16958477 SNP in the Promoter Region of the LOXL1 Gene is Associated With the LOXL1 Gene Expression Level. 2010 Annual Meeting of the ARVO (The Association for Research in Vision and Ophthalmology), Fort Lauderdale, Florida, U.S.A., 2010.5.6
27. Ueno M, Ikeda Y, Imai K, Mori K, Kinoshita S. Clinical-based observational study of glaucoma patient distribution and drug preference in Japanese common clinic in 2009. 9th EGS Congress, Madrid, 2010.9.12-17
28. Mori K, Ikeda Y, Ueno M, Imai K, Kinoshita S. Long-term clinical outcomes of trabeculotomy ab externo for the treatment of glaucoma after corneal transplantation. 9th

- EGS Congress, Madrid,
2010.9.12-17
29. Tada K, Ueno M, Mori K, Ikeda Y, Imai K, Kinoshita S. Three cases of lens-induced secondary glaucoma with combination mechanism which developed several years after cataract surgery. 9th EGS Congress, Madrid, 2010.9.12-17
30. 池田陽子、森 和彦、上野盛夫、今井浩二郎、近藤衣里、木下 茂. 線維柱帯切除術後早期の眼圧季節変動の検討. 第 33 回日本眼科手術学会総会、東京、2010.1.22
31. 上野盛夫、森 和彦、池田陽子、今井浩二郎、木下 茂. 抗緑内障薬上市前後における線維柱帯切開術適応症例の臨床背景と眼圧経過の検討. 第 33 回日本眼科手術学会総会、東京、2010.1.22
32. 池田陽子、高橋純子、森 和彦、上野盛夫、永田真帆、斎田孝彦、木下 茂. 多発性硬化症の病型別網膜神経線維厚減少量の検討. 第 114 回日本眼科学会総会、第 63 回日本臨床眼科学会学術展示優秀賞受賞講演、名古屋、2010.4.16
33. 池田陽子、森 和彦、上野盛夫、今井浩二郎、八木知人、大見奈津江、徳田雄市、不破正博、田中雅深、田代 啓、木下 茂. 原発開放隅角緑内障疾患マーカーSNPs と全身疾患の関連性の検討. 第 114 回日本眼科学会総会、名古屋、2010.4.15
34. 今井浩二郎、森 和彦、上野盛夫、池田陽子、川崎諭、中野正和、谷口孝純、大見奈津江、田代 啓、木下 茂. LOXL1 遺伝子プロモータ領域の遺伝子多型と落屑緑内障の関係. 第 114 回日本眼科学会総会、名古屋、2010.4.15
35. 加藤浩晃、上野盛夫、山村麻里子、池田陽子、今井浩二郎、横山貴子、森 和彦、木下 茂. 緑内障患者の近見視力障害と読字能力の相関. 第 114 回日本眼科学会総会、名古屋、2010.4.16
36. 山脇敬博、池田陽子、今井浩二郎、上野盛夫、森 和彦、木下 茂. 狭義開放隅角緑内障患者の血液生化学データの検討. 第 114 回日本眼科学会総会、名古屋、2010.4.16

37. 森 和彦、新開陽一郎、加藤浩晃、池田陽子、上野盛夫、今井浩二郎、木下 茂. Soemmering ring による続発閉塞隅角緑内障に対する手術療法. 第 116 回京都眼科学会、京都、2010.7.4
38. 永田健児、上野盛夫、多田玲、森 和彦、中野由紀子、小森秀樹、丸山和一、木下 茂. 4才で発症したVogt-小柳-原田病の一例. 第 116 回京都眼科学会、京都、2010.7.4
39. 今井浩二郎、森 和彦、池田陽子、上野盛夫、木村健一、木下 茂. 血液生化学データによる正常眼圧緑内障と全身疾患との関連性の検討. 第 21 回日本緑内障学会、博多、2010.9.24
40. 森 和彦、新開陽一郎、加藤浩晃、多田香織、池田陽子、上野盛夫、今井浩二郎、木下 茂. Soemmering ring による続発閉塞隅角緑内障眼に対する手術療法. 第 21 回日本緑内障学会、博多、2010.9.24
41. 池田陽子、森 和彦、上野盛夫、今井浩二郎、大見奈津江、不破正博、中野正和、八木知人、徳田雄市、田代 啓、木下 茂. カスタムチップによる既知緑内障遺伝子解析. 第 21 回日本緑内障学会、博多、2010.9.25
42. 高橋佳奈子、池田陽子、森 和彦、上野盛夫、今井浩二郎、岩間亜矢子、多田香織、吉村彰紘、木下 茂. 網膜神経線維層厚解析装置による正常眼圧緑内障の長期経過観察. 第 21 回日本緑内障学会、博多、2010.9.24
43. 吉村彰紘、池田陽子、森 和彦、上野盛夫、今井浩二郎、岩間亜矢子、多田香織、高橋佳奈子、木下 茂. 正常眼圧緑内障の視神経乳頭形状解析装置による長期経過観察症例の検討. 第 21 回日本緑内障学会、博多、2010.9.24
44. 南泰明、池田陽子、森 和彦、上野盛夫、今井浩二郎、岩間亜矢子、多田香織、高橋佳奈子、木下 茂. 多剤併用例におけるラタノプロストからビマトプロストへの切替え効果の検討. 第 21 回日本緑内障学会、博多、2010.9.24
45. 高橋純子、池田陽子、森 和彦、上野盛夫、今井浩二郎、永田真帆、

- 木下 茂. ラタノプロスト点眼液及び安定性改善処方製剤 MPR-0717 の有効性比較試験. 第 21 回日本緑内障学会、博多、2010.9.24
46. 多田香織、上野盛夫、森 和彦、池田陽子、今井浩二郎、木下 茂. 白内障手術後に生じた遅発性水晶体起因性続発緑内障. 第 21 回日本緑内障学会、博多、2010.9.24
47. 池田陽子、森 和彦、上野盛夫、今井浩二郎、不破正博、中野正和、八木知人、大見奈津江、徳田雄市、田中雅深、田代 啓、木下 茂. 既知緑内障遺伝子の原発開放隅角緑内障への寄与解析. 眼科 DNA チップ研究会. 神戸、2010.11.11
48. 上野盛夫、池田陽子、今井浩二郎、森 和彦、木下 茂. 京滋地区における過去 3 年間の緑内障薬物治療の変化の検討. 第 64 回日本臨床眼科学会. 神戸、2010.11.13
49. 池田陽子、上野盛夫、今井浩二郎、森 和彦、木下 茂. 緑内障検診における正常者乳頭形状グレード別判定結果. 第 64 回日本臨床眼科学会. 神戸、2010.11.13
50. 永田健児、上野盛夫、小森秀樹、多田玲、森 和彦、中野由起子、丸山和一、木下 茂. 4 歳で発症した Vogt-小柳-原田病の 1 例. 64 回日本臨床眼科学会. 神戸、2010.11.13
51. 池田陽子、森 和彦、上野盛夫、今井浩二郎、木下 茂. 眼内レンズ亜脱臼を合併した緑内障に対する緑内障手術成績の検討. 第 34 回日本眼科手術学会. 京都 2011.1.28
52. 上野盛夫、池田陽子、森 和彦、今井浩二郎、木下 茂. 白内障併用線維柱帯切除術による眼軸朝の変化. 第 34 回日本眼科手術学会. 京都 2011.1.28 手術学会
- 研究分担者 田代 啓
- 論文
1. Mori K, Imai K, Matsuda A, Ikeda Y, Naruse S, Hirota-Takeshita H, Nakano M, Taniguchi T, Omi N, Tashiro K, Kinoshita S. LOXL1 genetic polymorphisms are associated with exfoliation glaucoma in the

- Japanese population. *Molecular vision* 14(6):1037-1040,2008
2. Sekiyama E, Matsuyama Y, Higo D, Nirasawa T, Ikegawa M, Kinoshita S, Tashiro K. Applying Magnetic Bead Separation / MALDI-TOF Mass Spectrometry to Human Tear Fluid Proteome Analysis. *Journal of Proteomics & Bioinformatics*. 1(7).368-373,2008
 3. 中野正和、米田一仁、木下 茂、田代 啓. 眼科領域におけるアレ
イ解析の動向. 遺伝子医学
MOOK 1:271-276,2008
 4. Nakano M, Ikeda Y, Taniguchi T, Yagi T, Fuwa M, Omi N, Tokuda Y, Tanaka M, Yoshii K, Kageyama M, Naruse S, Matsuda A, Mori K, Kinoshita S, Tashiro K. Three susceptible loci associated with primary open-angle glaucoma identified by genome-wide association study in a Japanese population. *Proc Natl Acad Sci U.S.A.* 106(31):12838-12842,2009
 5. Nakano M, Ikeda Y, Yagi T, Mori K, Kinoshita S, Tashiro K. Reply to Rao et al.: Appropriate study design for genome-wide association study replication to identify variants modestly associated with complex traits. *Proc Natl Acad Sci U.S.A.* 106(44):125-126,2009
 6. Ueta M, Sotozono C, Nakano M, Taniguchi T, Yagi T, Tokuda Y, Fuwa M, Inatomi T, Yokoi N, Tashiro K, Kinoshita S. Association between prostaglandin E receptor 3 polymorphisms and Stevens-Johnson syndrome identified by means of a genome-wide association study. *J. Allergy Clin. Immunol.*126(6): 1218-1225,2010
 7. 中野正和、田代 啓. 大規模シー
クエンサー解析用ヒトゲノム標的
配列濃縮法、*実験医*. 28(19):
3147-3153 ,2010
 8. 池田陽子、中野正和、田代 啓、森

和彦、木下 茂.緑内障の検査診断学 . 3 . 遺 伝 子 診 断 . 眼科.53(2):207-220,2010

学会発表

1. 八木知人(研究協力者). 全ゲノム解析による眼疾患のアプローチ. 第62回日本臨床眼科学会、東京、2008.10.23
2. 森 和彦、池田陽子、成瀬繁太、松田 彰、今井浩二郎、中野正和、谷口考純、八木和人、大見奈津江、田代 啓、木下 茂.カスタムチップによる原発開放隅角緑内障のゲノムSNPs解析. 第62回日本臨床眼科学会、東京、2008.10.24
3. 池田陽子、森 和彦、成瀬繁太、松田彰、今井浩二郎、中野正和、谷口考純、八木和人、大見奈津江、田代 啓、木下茂.アフェメトリクス500Kチップによる原発開放隅角緑内障全ゲノムSNPs解析.第62回日本臨床眼科学会、東京、2008.10.23
4. 徳田雄市、池田陽子、八木知人、田中雅深、不破正博、大見奈津江、中野正和、谷口孝純、吉井健悟、森 和彦、景山正明、長崎生光、木下茂、田代 啓. ゲノムワイド関連解析による緑内障疾患関連候補遺伝子の探索. 第82回日本生化学会大会、神戸、2009.10.24
5. 田中雅深、池田陽子、八木知人、徳田雄市、不破正博、大見奈津江、中野正和、谷口孝純、森 和彦、吉井健悟、景山正明、木下 茂、田代 啓. 疾患関連マーカーSNPs 同定のためのケースコントロール解析に供するイルミナカスタムチップによる SNP ジェノタイプング最適化. 第 82 回日本生化学会大会、神戸、2009.10.24
6. 池田陽子、森 和彦、上野盛夫、今井浩二郎、八木知人、大見奈津江、徳田雄市、不破正博、田代 啓、木下 茂. 原発開放隅角緑内障の疾患マーカーSNPs解析. 第20回日本緑内障学会、沖縄、2009.11.13-15
7. 池田陽子、森 和彦、上野盛夫、成瀬繁太、松田 彰、今井浩二郎、

- 中野正和、八木知人、大見奈津江、不破正博、田代 啓、木下 茂. 原発開放隅角緑内障の疾患マーカー解析. 第63回日本臨床眼科学会、福岡、2009.10.9
8. 池田陽子、森 和彦、上野盛夫、今井浩二郎、八木知人、大見奈津江、徳田雄市、不破正博、田代 啓、木下 茂. 原発開放隅角緑内障の疾患マーカーSNPs解析. 第20回日本緑内障学会、沖縄、2009.11.13-15
9. 上田真由美、外園千恵、稲富勉、横井則彦、中野正和、谷口孝純、八木知人、徳田雄市、不破正博、田代 啓、木下 茂. Stevens-Johnson 症候群と EP3 遺伝子多型の相関ならびに EP3 機能の解析. 第 63 回日本臨床眼科学会、福岡、2009.10.9.-12
10. 外園千恵、上田真由美、関山英一、八木知人、不破正博、田代 啓、木下 茂. 急性期 Stevens-Johnson 症候群の涙液および血清中サイトカインの網羅的定量. 第 63 回日本臨床眼科学会、福岡、2009.10.9.-12
11. 不破正博、池田陽子、中野正和、谷口孝純、徳田雄市、大見奈津江、八木知人、田中雅深、上野盛夫、森 和彦、木下 茂、田代 啓. 緑内障の主病型である原発開放隅角緑内障に関連する多型の網羅的解析. 第83回日本生化学会大会、神戸、2010.12.10
12. 今井浩二郎、森 和彦、上野盛夫、池田陽子、川崎諭、不破正博、中野正和、八木知人、大見奈津江、田代 啓、木下 茂. LOXL1 遺伝子プロモータ領域の遺伝子多型 rs16958477 と落屑緑内障との関係. 第 83 回日本生化学会大会、神戸、2010.12.7
13. 池田陽子、森 和彦、上野盛夫、今井浩二郎、八木知人、大見奈津江、徳田雄市、不破正博、田中雅深、田代 啓、木下 茂. 原発開放隅角緑内障疾患マーカーSNPs と全身疾患の関連性の検討. 第 114 回日本眼科学会総会、名古屋、2010.4.15
14. 今井浩二郎、森 和彦、上野盛夫、池田陽子、川崎諭、中野正和、谷口孝純、大見奈津江、田代 啓、

- 木下 茂. LOXL1 遺伝子プロモータ領域の遺伝子多型と落屑緑内障の関係. 第 114 回日本眼科学会総会、名古屋、2010.4.15
15. 池田陽子、森 和彦、上野盛夫、今井浩二郎、大見奈津江、不破正博、中野正和、八木知人、徳田雄市、田代 啓、木下 茂. カスタムチップによる既知緑内障遺伝子解析. 第 21 回日本緑内障学会、博多、2010.9.25
16. 池田陽子、森 和彦、上野盛夫、今井浩二郎、不破正博、中野正和、八木知人、大見奈津江、徳田雄市、田中雅深、田代 啓、木下茂. 既知緑内障遺伝子の原発開放隅角緑内障への寄与解析. 眼科 DNA チップ研究会. 神戸、2010.11.11
17. 大見奈津江、中野正和、徳田雄市、田代 啓. ゲノムコホート資源のためのヒト細胞不死化技術樹立、第 6 回 3 大学連携研究フォーラム、京都、2010.12.7
18. 木下 茂、上田真由美、外園千恵、稲富 勉、横井則彦、中野正和、谷口孝純、八木知人、徳田雄市、不破正博、田代 啓. Stevens-Johnson 症候群に対する全遺伝子アプローチによる遺伝子多型解析、第 31 回日本炎症、再生医学会、東京.2010.5.5-6
- 研究分担者 長崎 生光
- 論文
1. Nagasaki I, Ushitaki F. Isovariant maps from free C_n -manifolds to representation spheres, *Topology and its Applications* 155: 1066-1076, 2008
 2. Nagasaki I. Units of the Burnside ring that are not represented by linear G -spheres, *Studia Humana et Naturalia* 42:19-24, 2008
 3. Nagasaki I, Kawakami T, Hara Y, Ushitaki F. The Borsuk-Ulam theorem in a real closed field, *Far East J. Math. Sci. (FJMS)*. 33:113-124, 2009
 4. Nagasaki I. A note on the existence problem of isovariant

- maps between representation spaces. *Studia Humana et Naturalia*.43:33-42,2009
5. Nagasaki I, Kawakami T, Hara Y, Ushitaki F. The Smith homology and Borsuk-Ulam type theorems, *Far East Journal of Mathematical Sciences* 38: 205-216, 2010
 6. Nagasaki I. A survey of Borsuk-Ulam type theorems for isovariant maps,roceedings of the International Conference Bratislava Topology Symposium "Group Actions and Homogeneous Spaces".75-98, 2010
- 学会発表
1. 長崎生光. Isovariant homotopy classes and multidegrees of isovariantmaps, RIMS 研究集会「変換群の幾何とその周辺」2008. 京都
 2. Nagasaki I. Classification of isovariant maps under a Borsuk-Ulam inequality, Conference on Algebraic and Geometric Topology, 2008. Gdansk, Poland
 3. 長崎生光. On the isovariant Hopf theorem、変換群論シンポジウム、2008.岡山
 4. 長崎生光. Isovariant maps from free G-manifolds to representation spheres、RIMS研究集会「変換群論の新たな展開」、2009. 京都
 5. Nagasaki I. Isovariant maps from free G-manifolds to representation spheres, Bratislava Topology Symposium, 2009. Bratislava, Slovakia
 6. 牛瀧文宏、長崎生光、On isovariant Hopf type theorems、第 36 回変換群論シンポジウム、2009. 大阪
 7. Nagasaki I. On the existence and classification of isovariant maps, RIMS Conference Transformation groups and surgery theory, Kyoto 2010.9.2
 8. Nagasaki I.Some results on the existence and classification of

isovariant maps, Group Actions in
Topology and Analysis. 4th GAF
Conference, Milan, Italy
2010.9.16

[II]

研究成果の刊行に関する一覧表

研究代表者 木下 茂

- 1.Mori K, Imai K, Matsuda A, Ikeda Y, Naruse S, Hirota-Takeshita H, Nakano M, Taniguchi T, Omi N, Tashiro K, Kinoshita S. LOXL1 genetic polymorphisms are associated with exfoliation glaucoma in the Japanese population. *Molecular vision* 14(6):1037-1040,2008
- 2.Ikeda Y, Mori K, Ishibashi T, Naruse S, Nakajima N, Kinoshita S. Effects of Switching from Topical α -Blockers to Latanoprost on Intraocular Pressure in Patients with Normal-Tension Glaucoma. *Journal of Ocular Pharmacology and Therapeutics* 24(2):230-234,2008
- 3.Yamamura K, Mori K, Hieda O, Kinoshita S. Anterior segment optical coherence tomography findings of acute angle-closure glaucoma in Vogt-Koyanagi-Harada disease. *Japanese Journal of Ophthalmology* 52(3):231-232,2008
- 4.Ueta M, Hamuro J, Ueda E, Katoh N, Yamamoto M, Takeda K, Akira S, Kinoshita S. Stat6-independent tissue inflammation occurs selectively on the ocular surface and perioral skin of IkappaBzeta^{-/-} mice. *Invest Ophthalmol Vis Sci*. 49(8):3387-3394,2008
- 5.Ueta M, Tokunaga K, Sotozono C, Inatomi T, Yabe T, Matsushita M, Mitsuishi Y, Kinoshita S. HLA class I and II gene polymorphisms in Stevens-Johnson syndrome with ocular complications in Japanese. *Mol Vis*. 17:14:550-555,2008
- 6.Ueta M, Sotozono C, Inatomi T, Kojima K, Hamuro J, Kinoshita S. Association of Fas Ligand gene polymorphism with Stevens Johnson syndrome. *Br J Ophthalmol*. 92(7):989-993.,2008
- 7.Ueta M, Sotozono C, Inatomi T, Kojima K, Hamuro J, Kinoshita S. Association of Combined IL-13/IL-4R Signaling Pathway Gene

- Polymorphism with Stevens-Johnson Syndrome Accompanied by Ocular Surface Complications. *Invest Ophthalmol Vis Sci.* 49(5):1809-1813,2008
- 8.Kojima K, Ueta M, Hamuro J, Hozono Y, Kawasaki S, Yokoi N, Kinoshita S. Human conjunctival epithelial cells express functional Toll-like receptor 5.*Br J Ophthalmol.* 92(3):411-416.,2008
- 9.Nakamura T, Sekiyama E, Takaoka M, Bentley AJ, Yokoi N, Fullwood NJ, Kinoshita S. The use of trehalose-treated freeze-dried amniotic membrane for ocular surface reconstruction.*Biomaterials.*29(27):3729-3737,2008
- 10.Takaoka M, Nakamura T, Sugai H, Bentley AJ, Nakajima N, Fullwood NJ, Yokoi N, Hyon SH, Kinoshita S. Sutureless amniotic membrane transplantation for ocular surface reconstruction with a chemically defined bioadhesive.*Biomaterials.* 29(19):2923-2931,2008
- 11.Yokoi N, Yamada H, Mizukusa Y, Bron AJ, Tiffany JM, Kato T, Kinoshita S. Rheology of tear film lipid layer spread in normal and aqueous tear-deficient dry eyes.*Invest Ophthalmol Vis Sci.* 49(12):5319-5324,2008
- 12.Yoshida Y, Ban Y, Kinoshita S. Tight Junction Transmembrane Protein Claudin Subtypes Expression and Distribution in Human Corneal and Conjunctival Epithelium.*Invest Ophthalmol Vis Sci.* 50(5):2103-2108,2008
- 13.Sekiyama E, Matsuyama Y, Higo D, Nirasawa T, Ikegawa M, Kinoshita S, Tashiro K. Applying Magnetic Bead Separation / MALDI-TOF Mass Spectrometry to Human Tear Fluid Proteome Analysis. *Journal of Proteomics & Bioinformatics.* 1(7).368-373,2008
- 14.木村健一、森 和彦、池田陽子、成瀬繁太、松田 彰、今井浩二郎、木下 茂.ステレオ視神経乳頭陥凹解析における臨床経験による差の検討.あたらし

- い眼科25(5):741-744,2008
- 15.Ueta M, Matsuoka T, Narumiya S, Kinoshita S. Prostaglandin E receptor subtype EP3 in conjunctival epithelium regulates late-phase reaction of experimental allergic conjunctivitis. *J Allergy Clin Immunol.* 123(2):466-471,2009
 - 16.Nakano M, Ikeda Y, Taniguchi T, Yagi T, Fuwa M, Omi N, Tokuda Y, Tanaka M, Yoshii K, Kageyama M, Naruse S, Matsuda A, Mori K, Kinoshita S, Tashiro K. Three susceptible loci associated with primary open-angle glaucoma identified by genome-wide association study in a Japanese population. *Proc Natl Acad Sci U S A.* 106(31):12838-12842,2009
 - 17.Nakano M, Ikeda Y, Yagi T, Mori K, Kinoshita S, Tashiro K. Reply to Rao et al.: Appropriate study design for genome-wide association study replication to identify variants modestly associated with complex traits. *Proc Natl Acad Sci U.S.A.* 106(44):125-126,2009
 - 18.Ueta M, Matsushita M, Sotozono C, Kinoshita S, Tokunaga K. Identification of a novel HLA-B allele, HLA-B*5904. *Tissue Antigens.* 73:612-614,2009
 - 19.Takayama T, Kondo T, Kobayashi M, Ohta K, Ishibashi Y, Kanemaru T, Shimazu H, Ishikawa F, Nakamura T, Kinoshita S, Nakamura K. Characteristic morphology and distribution of bone marrow derived cells in the cornea. *The Anatomical Record.* 292:756-763,2009
 - 20.Ang L, Tanioka H, Kinoshita S . Cultivated Human Conjunctival Epithelial Transplantation For Total Limbal Stem Cell Deficiency. *Invest Ophthalmol Vis Sci.* 51(2):758-764,2010
 - 21.Ueta M, Uematsu S, Akira S, Kinoshita S. Toll-like receptor 3 enhances late-phase reaction of experimental allergic conjunctivitis. *J Allergy Clin*

- Immunol. 123:1187-1189,2009
- 22.Ueta M, Sotozono C, Takahashi J, Kojima K, Kinoshita S. Examination of staphylococcus aureus on the ocular surface of patients with catarrhal ulcers. *Cornea*. 28(7):780-782,2009
- 23.Sotozono C, Ueta M, Koizumi N, Inatomi T, Ikezawa Z, Shirakata Y, Hashimoto K, Kinoshita S. Diagnosis and Treatment of Stevens-Johnson Syndrome and Toxic Epidermal Necrolysis with Ocular Complications. *Ophthalmology*. 116:685-690,2009
- 24.Araki Y, Sotozono C, Inatomi T, Ueta M, Yokoi N, Ueda E, Kishimoto S, Kinoshita S. Successful Treatment of Stevens-Johnson Syndrome with Steroid Pulse Therapy at Disease Onset. *Am J Ophthalmol*. 147:1004-1011,2009
- 25.Yamada J, Hamuro J, Fukushima A, Ohteki T, Terai K, Iwakura Y, Yagita H, Kinoshita S. MHC-matched corneal allograft rejection in an IFN-gamma/IL-17-independent manner in C57BL/6 mice. *Invest Ophthalmol Vis Sci*. 50:2139-2146,2009
- 26.Matsuda A, Okayama Y, Terai N, Yokoi N, Ebihara N, Tanioka H, Kawasaki S, Inatomi T, Katoh N, Ueda E, Hamuro J, Murakami A, Kinoshita S. The role of interleukin-33 in chronic allergic conjunctivitis. Characteristic morphology and distribution of bone marrow derived cells in the cornea. *Invest Ophthalmol Vis Sci*. 50(10):4646-4652,2009
- 27.Tanioka H, Yokoi N, Komuro A, , Kawasaki S, Matsuda A, Kinoshita S. Investigation of the corneal filament in filamentary keratitis. *Invest Ophthalmol Vis Sci*. 50(8):3696-3702,2009
- 28.Okumura N, Ueno M, Koizumi N, Sakamoto Y, Hirata K, Hamuro J, Kinoshita S.enhancement on primate corneal endothelial cell survival in vitro by a ROCK inhibitor. *Invest Ophthalmol Vis Sci*.

- 50(8):3680-3687,2009
- 29.Ouchi M, Kinoshita S. Prospective Randomised trial of limbal relaxing incision combined with microincision cataract surgery. *Refract Surg.* 26:1-6,2009
- 30.Matsuda A, Okayama Y, Ebihara N, Yokoi N, Hamuro J,Walls AF,Ra Chisei, Hopkin JM, Kinoshita S. Hyperexpression of the high affinity IgE receptor- β chain in chronic allergic keratoconjunctivitis.*Invest Ophthalmol Vis Sci.* 50(6):2871-2877,2009
- 31.Cannon CJ, Douth J, Chen B, Hopkinson A, Mehta JS, Nakamura T, Kinoshita S. Meek KM: The Variation In Transparency Of Amniotic Membrane Used In Ocular Surface Regeneration. *Br J Ophthalmol.* 94(8):1057-1061,2010
- 32.Matsuda A, Ebihara N, Yokoi N, Kawasaki S, Tanioka H, Inatomi T, Malefyt R, Hamuro J, Kinoshita S, Murakami A. Functional Roles of Thymic Stromal Lymphopoietin for Chronic Allergic Keratoconjunctivitis. *Invest Ophthalmol Vis Sci.* 51(1):151-155,2010
- 33.Ueta M, Sotozono C, Nakano M, Taniguchi T, Yagi T, Tokuda Y, Fuwa M, Inatomi T, Yokoi N, Tashiro K, Kinoshita S. Association between prostaglandin E receptor 3 polymorphisms and Stevens-Johnson syndrome identified by means of a genome-wide association study. *J. Allergy Clin. Immunol.*126(6): 1218-1225,2010
- 34.Ueta M, Mizushima K, Yokoi N, Naito Y, Kinoshita S. Gene-expression analysis of polyI:C-stimulated primary human conjunctival epithelial cells. *Br J Ophthalmol.* 94(11):1528-1532,2010
- 35.Fukuoka H, Kawasaki S, Yamasaki K, Matsuda A, Fukumoto A, Murakami A, Kinoshita S. Lattice corneal dystrophy type IV (p.Leu527Arg) is caused by a founder mutation of the TGFBI gene in a

- single Japanese ancestor. *Invest Ophthalmol Vis Sci.* 51(9):4523-4530,2010
- 36.Imai K, Hamaguchi M, Mori K, Takeda N, Fukui M, Kato T, Kawahito Y, Kinoshita S, Kojima T. Metabolic syndrome as a risk factor for high-ocular tension. *Int J Obe (Lond).* 34(7):1209-1217,2010
- 37.Miyanaga M, Sugita S, Shimizu N, Morio T, Miyata K, Maruyama K, Kinoshita S, Mochizuki M. A significant association of viral loads with corneal endothelial cell damage in cytomegalovirus anterior uveitis. *Br J Ophthalmol.* 94(3):336-340,2010
- 38.Ueta M, Mizushima K, Yokoi N, Naito Y, Kinoshita S. Expression of the interleukin-4 receptor alpha in human conjunctival epithelial cells. *Br J Ophthalmol.* 94(9):1239-1243,2010
- 39.Ueta M, Sotozono C, Yokoi N, Inatomi T, Kinoshita S. Prostaglandin E Receptor 4 Expression in Human Conjunctival Epithelium and Its Downregulation in Devastating Ocular Surface Inflammatory Disorders. *Arch Ophthalmol.* 128 (10), 1369-1371,2010
- 40.Kinoshita S, Ueta M. Innate Immunity of the Ocular Surface. *Jpn J Ophthalmol* 54:194–198,2010
- 41.Ueta M, Kinoshita S. Ocular Surface Inflammation Mediated by Innate Immunity. *Eye & Contact Lens.* 136 (5):269-281, 2010
- 42.Ueta M, Matsuoka T, Yokoi N, Kinoshita S. Prostaglandin E receptor subtype EP3 downregulates TSLP expression in human conjunctival epithelium. *Br J Ophthalmol.* doi:10.1136/bjo.2010.188748, 2010
- 43.Koizumi H, Maruyama K, Kinoshita S. Blue light and near-infrared fundus autofluorescence in acute Vogt-Koyanagi-Harada disease. *Br J Ophthalmol.* 94(11)1499-1505,2010
- 44.Ueta M, Kawai T, Yokoi N, Akira S, Kinoshita S. Contribution of IPS-1